

# すぽっとライト

マイクを持って街へ  
NO. 24

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、障害をもった方が主役のマラソン大会「四国てんとう虫マラソン大会」の開催を実現した砂金 則男さんにお話を伺いました。



一緒に楽しく走りましょう！障がいのある人もない人も！

## ○四国てんとう虫マラソンとは？

今から3年前、障害のある人と健常者が同じコースを走る「京都てんとう虫マラソン」を見て、四国でもできないかと思いつき、一昨年末の大会世話人会発足後、世話人会として準備を進め、昨年11月3日に香川県総合運動公園において四国で初めて開催することができました。大会当日は、障害者77名を含む約340名が出場し、ボランティアを含めた約500名が参加しました。

また、完走者にはゴールする際に特注の金メダルを首にかけてプレゼントもしました。

四国てんとう虫マラソン大会  
代表世話人 砂金 則男さん

## ○障害のある人にも走りたい人が多い？

目の不自由な人などは外で歩いたり走ったりしたい人が多いです。しかし、ひとりでできる安全な場所がないから、家に閉じこもりがちになる人も多いようです。だから今回、お宅に伺って、マラソンやウォーキングの話をするとうち練習会に参加を希望する人が多くありました。

## ○大会までの準備は大変

初めての大会でしたので、想定外のことがたびたび発生し、世話人会では分担し切れない程でした。特に7～8月は暑い中、高松市内を自転車でかけ回り、出場者集めやボランティア集めなど行いました。

また、9月から大会までは、出場者やその家族から数多くの相談や問い合わせがあり、その対応に追われ、10月には大会サポートのボランティアが足りず、各団体などへ何度もお願いに参りました。

## ○ 伴走の練習会も開催

目の不自由な人などが安全に歩いたり走ったりするには、伴走をする人の協力が必要です。それも走力が上位の人でないといけません。伴走練習会参加者はのべで200人を越えました。

練習会では、みなさん汗をいっぱいかいて歩いたり走ったりしています。とてもイキキしています。

通常は月2回の練習ですが、2月の丸亀ハーフマラソンに出場し完走するため、昨年12月と今年の1月は毎週土日に練習会をしました。結果、練習の甲斐あって出場した4人は全員完走できました。

練習会は今、課題をかかえています。それは練習場所までなかなかひとりで来られない障害者の方への対応です。どうしても送り迎えが必要なので伴走者が市内各地区に増えることで障害者といっしょに参加してもらえればとても助かります。

しかし参加される障害者の人たちには常々、「自分でできることはやってくださいネ、でも、伴走（歩）は私たちがしっかりやりますから」と言っています。

## ○ 伴走は難しい？

決して難しくはありませんが、伴走することに慣れる必要があります。また、慣れてきたからといって手を抜くと事故につながりますので、練習はしっかりしてほしいのです。

また、練習は、どうしても車や人の少ないところでしがちですが私は人や自転車とすれちがう通りでないと対応方法が身に付かないと思っています。

それから、目の見えない人は走っていて肌で感じるものはあってもやはり天候などはわかりません。伴走する人には「今日は空に入道雲が見えますよ」、「川面が銀色に光っています」というような、よもやま話をしながらの余裕を持った伴走をしてほしいのです。理屈ではわかっているけど、いざ危険なことに遭遇したときに臨機



四国てんとう虫マラソン大会の様子

応変に対応ができるかということ、結構難しい場面もあるので、練習は必要です。時には伴走者がアイマスクで見えない体験をすることもやはり必要です。

### ○大会は大成功

とても感謝されました。是非続けてくださいと。また、大会後のアンケートでは、沿道の応援が非常によかったということでしたので次回はストリートミュージシャンなどを呼んだり、沿道が家族単位のミニコンサートのようになれば更にあたたかい大会になるのではと思っています。

### ○次回の大会は

第2回大会は平成22年11月14日（日）に香川県総合運動公園（高松市生島町）で開催することが決まりました。既に香川県や岡山県で開催されたマラソン大会会場に出向き、参加ランナーにチラシを配って宣伝を行いました。早くもFAXで大会への参加を表明してくださった方も多くいます。

5月には前回出場いただいた方、また、今回参加表明をしていただけた方に大会要項をお送りしようと考えています。

### ○最後に

障害のある人も介助があればこんなに元気なスポーツができるということを知ってほしいです。

もっと多くの障害のある人が参加し、また、沿道でランナーを様々なかたちで応援する人が増えて、この大会の意義が多くの人にわかってもらえればよいと思っています。

いずれは四国4県での開催ができればと考えています。

てんとう虫の5つの点は、点字で「て」を表しています。障がいのある人とない人がともに手をつなぐことを意味しています。



（インタビュー実施日：平成22年3月16日（火）聞き手：今西、井上）